

三次元画像の再配布と簡単再生を実現する新技術



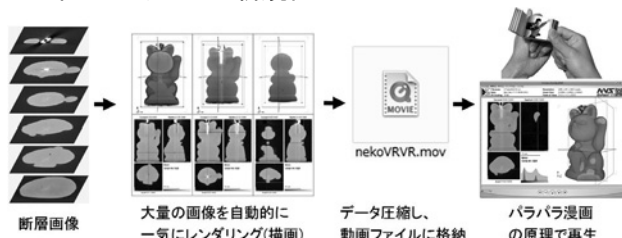
SATテクノロジー・ショーケース2015

■ はじめに

当社は先端的な科学技術、産業、医療等の分野で用いられる、画像や三次元に関するソフトウェアを開発/販売する事業を1997年より継続してまいりました。

産業用X線CTやFIB SEMといった画像デバイスから得られた断層画像を三次元可視化/解析するソフトウェア ExFact VR 2.0 (エクスファクト・ブイアール)を開発し、新発売致しましたところ、好評を得ております。

■ 本ソフトウェアの新規性



技術面: 断層画像一式を弊社ソフトウェアで読み込み、回転、断面など想定されるシーンの画像を前もって描画、コンパクトにデータ圧縮し、縦横に並んだ配列として動画ファイルに格納します。それをパラパラ漫画の原理で軽快に再生できる新規の技術に基づいています(特許取得済)。

コンセプト: 上記を考案したことで、

- ▶ 三次元画像の再配布と簡単再生が実現し、データの波及効果が期待できます。
- ▶ 時間と手間暇がかかる画像処理が一気に自動的に行えます。

■ 活動内容

1. 新鋭の航空機ボーイング787がリチウムイオン電池の故障によって平成25年1月から全世界的に運休に至ったことは、社会問題として取り上げられたため、皆さんの記憶に新しいことと思います。弊社は本件について格別の要請を受け、日米の運輸安全委員会、電池メーカーらによる故障解析に協力致しました。報道等で登場する画像は、弊社が本ソフトウェアで作ったものです。



2. 公設試、研究機関、大学、受託分析の会社、企業の研

究開発部門、品質保証、分析等の部署に数多くの納入実績があり、日常的に業務に使用されています。多くの社会的な、あるいは先端的なテーマが手掛けられており、このソフトウェアで作ったデータが多くの人の手に渡っています。

3. 3D画像から各種立体模型や展示物を製作する新事業を新たに開始致しました。3Dプリンタを導入して単に出力するといった安直なやり方ではなく、色や濃淡、内部構造や浮島状といった3D画像ならではの構造を表現できる新技術とアイデアに基づいています。

■ 関連情報 (受賞、採択、特許)

- 2013.8 平成24年度補正 経済産業省ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 2次公募に採択
- 2013.10 三次元画像処理ソフトウェア「ExFact VR 2.0」が2013年(第14回) 東京都ベンチャー技術大賞 奨励賞を受賞(ソフトウェア製品では唯一の受賞)
- 2014.5 りそな中小企業振興財団、日刊工業新聞社 主催、経済産業省 中小企業庁後援の 第26回 中小企業優秀新技術・新製品賞 ソフトウェア部門の最高位「優秀賞」を受賞
- 2014.5 東京都中小企業振興公社 平成26年度 中小企業経営・技術活性化助成事業 市場開拓助成事業に採択
- 2014.6 東京都中小企業振興公社 平成26年度 ニューマーケット開拓支援事業に採択

日本国特許 第5582584号 特願2012-065353

表示用画像データファイル生成装置
及び表示装置並びにプログラム



■ 応用分野と可視化事例

自動車、エレクトロニクス、半導体、航空宇宙、材料、土木、原子力、エネルギー、文化財、バイオ、科学研究



代表発表者 **滝 克彦 (たき かつひこ)**
所 属 **日本ビジュアルサイエンス株式会社**
問合せ先 **〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-26-2**
コーラルビル 4階
TEL:03-5155-5561 FAX:03-5155-5560
info@nvs.co.jp

■キーワード: (1) 画像処理
(2) 可視化
(3) X線CT